

# みやざきから広がる 空のネットワーク

～みやざきの空を彩る飛行機たち～

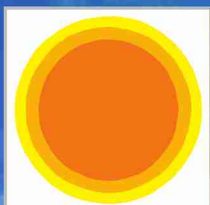


# 海のネットワーク



みやざきのうごき2018  
2018年 3月発行  
宮崎県  
宮崎県庁ホームページ  
<http://www.pref.miyazaki.lg.jp>

長距離フェリー航路の維持

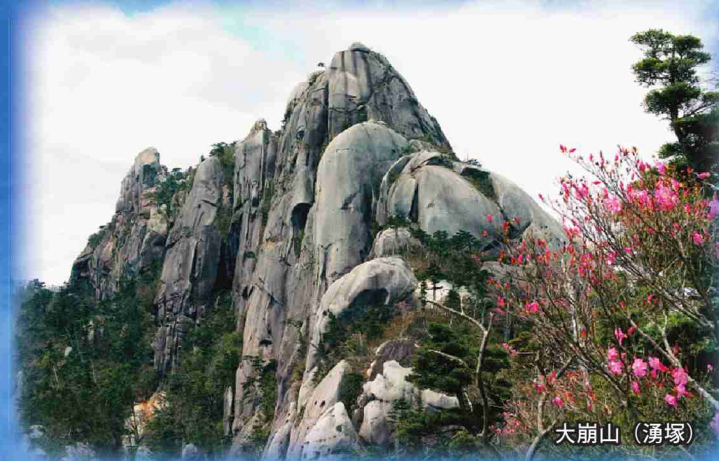


日本の  
ひなた  
宮崎県

# みやざき のうごき 2018

## contents

- 1 宮崎県のすがた
- 2 人口のうごき
- 3 経済のうごき
- 4 宮崎県総合計画
- 5 地方創生への取組
- 6 みやざきの更なる飛躍と新たな挑戦
- 7 行財政改革の推進
- 8 宮崎県の財政
- 9 宮崎の主な県政のうごき
- 10 宮崎県のあゆみ
- 11 全国から見た宮崎県



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録決定



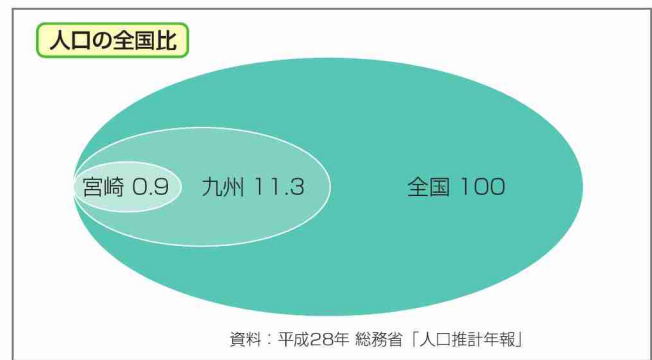
「第11回全国和牛能力共進会」3大会連続内閣総理大臣賞受賞

# 1 宮崎県のすがた



## 1 人口

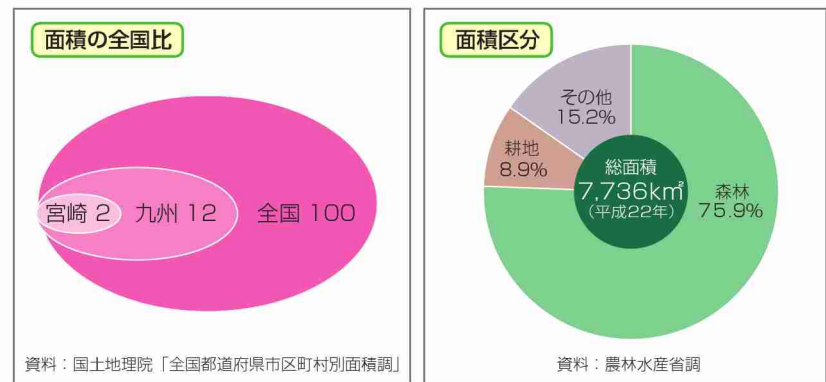
●県の人口は1,096千人(平成28年10月1日)で、全国人口の約0.9%となっています。



## 2 面積等

●県土面積は7,735km<sup>2</sup>で、国土の約2%を占めており、9市14町3村で構成されています。

●その中で、森林(5,873km<sup>2</sup>)が75.9%、耕地(690km<sup>2</sup>)が8.9%となっており、緑豊かな地勢となっています。



## 3 気候

●平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間、快晴日数は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。

●降水量も多く、豊富で良質な水資源に恵まれています。

快晴日数	52.7日	(全国2位)
日照時間	2,116時間	(全国3位)
平均気温	17.4℃	(全国3位)
降水量	2,509mm	(全国2位)

資料：気象庁「日本気候表」(宮崎市、昭和56年～平成22年の平均)

## 4 自然環境

●本県は、緑豊かな山々や美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は91,919haで、県土の約12%を占めているほか、105haの海域公園地区が指定されています。

●全国に先駆けて制定した沿道修景美化条例などに基づいて、沿道の修景、自然環境の保全と創出に努め、郷土の美化を推進しています。



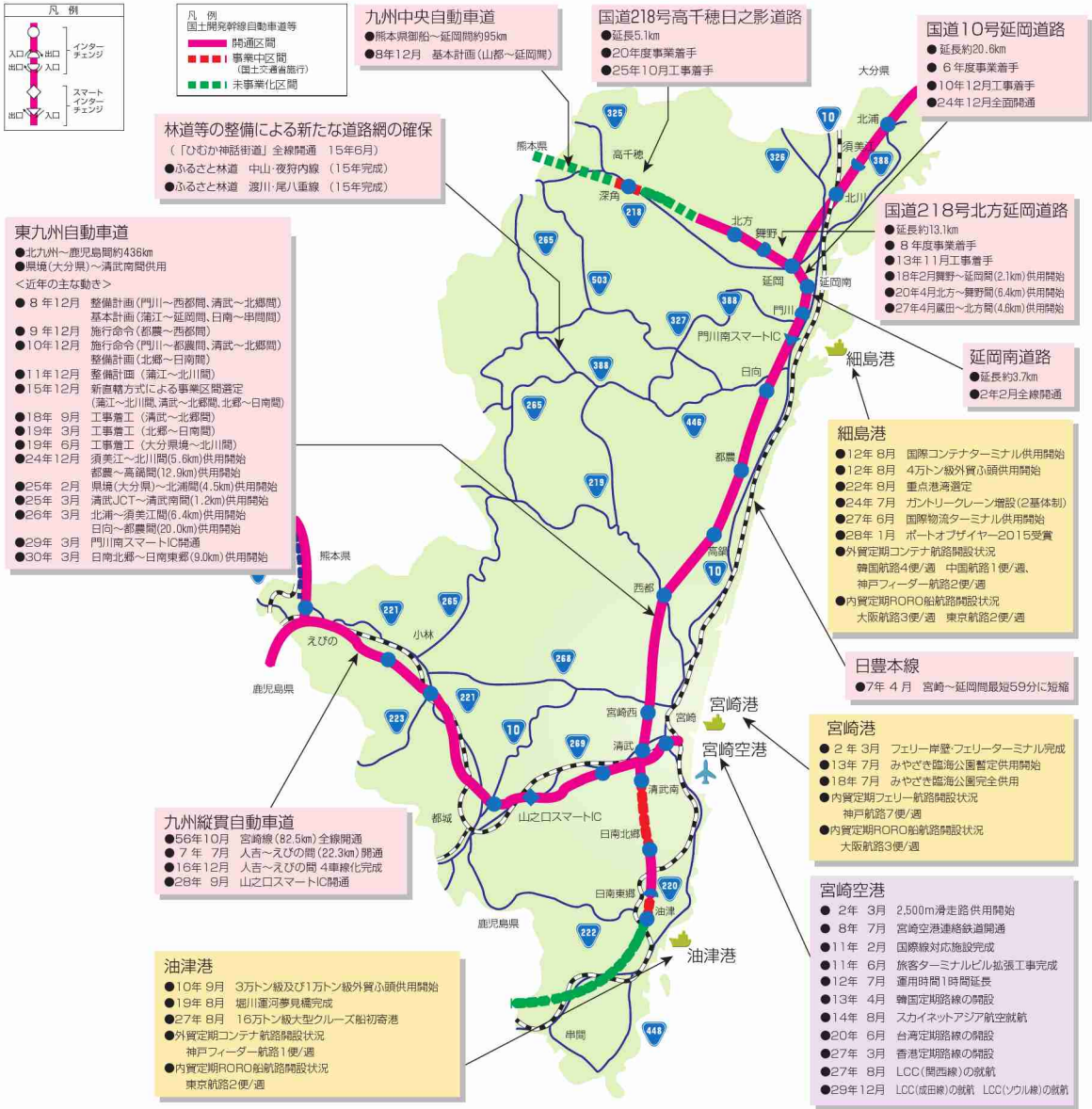
沿道修景植栽地区

国立公園	1公園	13,006ha	(霧島錦江湾)
国定公園	4公園	31,968ha	(日南海岸、祖母嶺、日豊海岸、九州中央山地)
海域公園地区	2公園 12地区	105ha	(日南海岸、日豊海岸)
県立自然公園	6公園	46,945ha	(尾鈴、西都原杉安峽、母智丘関之尾、わかつか、矢岳高原、祖母嶺)
自然環境保全地域	2か所	184ha	(経葉、掃部岳北部)
緑地環境保全地域	4か所	21ha	(森谷観音、大斗滝、三之宮峽、長谷観音)
沿道自然景観地区	18か所	1,026ha	
沿道修景植栽地区	74地区	168km	

資料：自然環境課 (H28.3.31) 道路保全課 (H29.3.31)

## 5 総合交通網

●総合交通網の整備状況  
東九州自動車道及び九州中央自動車道をはじめとする高規格幹線道路や国県道などの整備による「県内1時間構想」の実現、空港・港湾の整備等に向けて、積極的な取組を行っています。



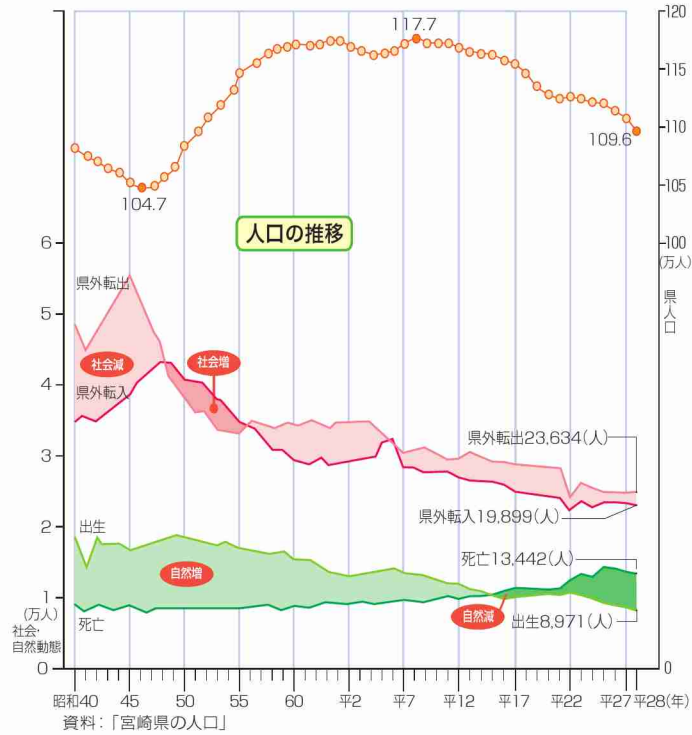
空路	東京(羽田)	東京(成田)	名古屋(中部)	大阪(伊丹)	大阪(関西)	福岡	沖縄	ソウル	台北	香港						
	90分 (日18往復)	100分 (日1往復)	70分 (日3往復)	60分 (日11往復)	65分 (日1往復)	40分 (日13往復)	80分 (日1往復)	100分 (週6往復)	120分 (週3往復)	180分 (週2往復)						
高速バス 宮崎～	福岡(博多)	福岡(夜行)	長崎	熊本	新八代(B&S)	大分・別府	鹿児島	高千穂	延岡	京都(神戸・大阪)	高速バス 延岡～	福岡	福岡(夜行)	熊本	大分・別府	京都(神戸・大阪)
	4時間9分 (28往復)	8時間15分 (1往復) *金土のみ	5時間17分 (2往復)	3時間22分 (14往復)	2時間05分 (16往復)	3時間26分 (6往復)	2時間45分 (7往復)	2時間40分 (1往復) *土日のみ	1時間55分 (5往復)	13時間54分 (1往復)		4時間43分 (4往復)	6時間0分 (1往復) *金土のみ	4時間20分 (2往復)	1時間52分 (6往復)	11時間51分 (1往復)
鉄道	博多(九州新幹線経由)		博多(日豊本線経由)		博多(B&S)		小倉		大分		鹿児島中央					
	3時間29分(415km)		5時間10分(406km)		3時間		4時間25分(340km)		3時間(207km)		2時間1分(126km)					
カーフェリー	神戸	RORO船	大阪	RORO船	東京	大阪	RORO船	東京								
	宮崎(宮崎港)～ 495km 12時間20分 (週7便)	宮崎(宮崎港)～	494km 20時間 (週3便)	日向(細島港)～	898km 27時間 (週2便)	455km 14時間30分 (週3便)	日向(油津港)～	989km 38時間 (週2便)								
外資定期航路	釜山(韓国)		上海(中国)		神戸(フィーダー)		外資定期航路		神戸(フィーダー)							
	日向(細島港)～ 1日(週4便)		3日(週1便)		2日(週2便)		日向(油津港)～		2日(週2便)							

※ 時間は、往復のうち最短時間を記載している。

# 2 人口のうごき

## 1 人口の動態

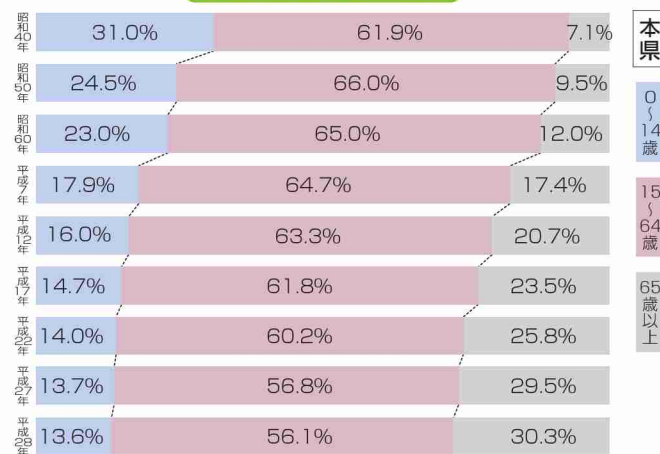
- 本県の総人口は、昭和46年(104万7千人)を境に増加基調に転じ、転出数の大幅な減少などを背景に昭和50年代前半まで高い伸びを示しました。
- その後、人口増加率は低下を続け、県人口は、平成8年(117万7千人)をピークに減少傾向にあります。
- 自然動態をみると、自然増加数(出生数-死亡数)は、出生数の減少に伴い、昭和55年以降は減少傾向にあり、平成15年には自然減に転じています。
- 社会動態は、昭和57年以降、転出超過に転じた後、平成5~6年には転入と転出がほぼ同数となりましたが、平成7年以降、再び転出超過が続いています。



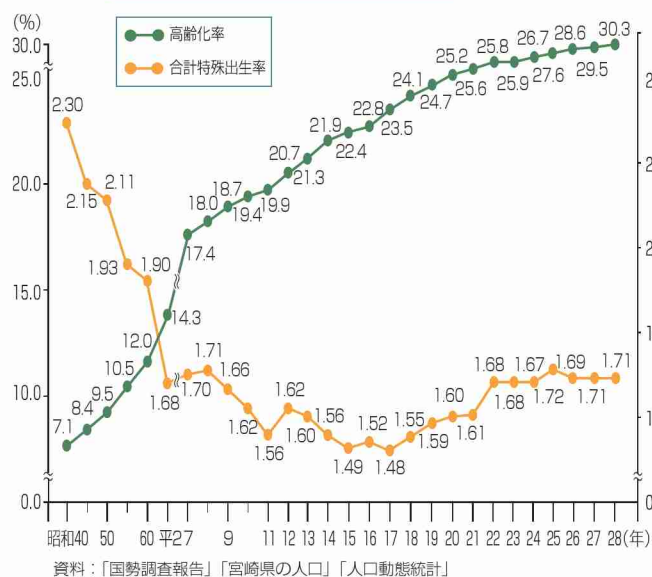
## 2 年齢(3区分)別人口の推移

- 本県の65歳以上人口は、昭和40年の7万7千人から平成28年には32万9千人と約4倍に増加しており、全国より早く高齢化が進んでいます。
- 平成8年以降は、65歳以上の人口割合が14歳以下の人口割合を上回る状況となっています。
- 合計特殊出生率\*は、1.71(平成28年)で全国平均1.44を大きく上回っていますが、現在の人口を維持するために必要な水準2.07を下回っています。

### 年齢3区分別人口の推移



### 高齢化率と合計特殊出生率の推移



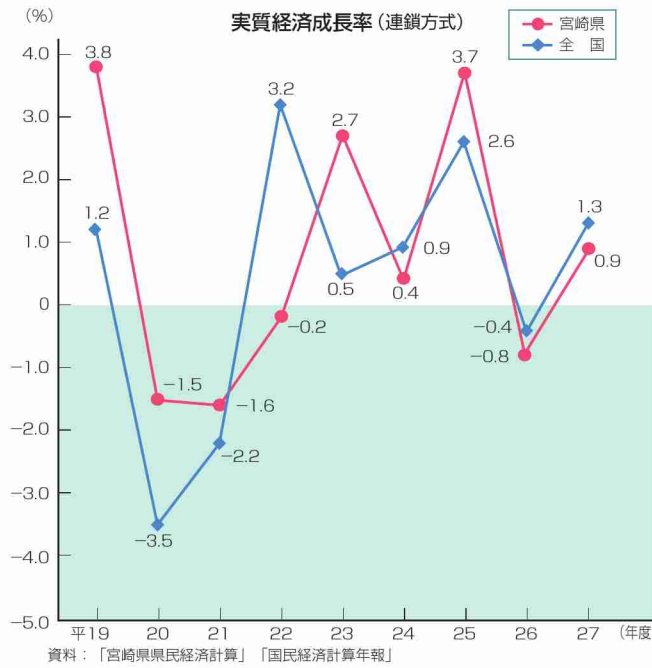
### 宮崎県の高齢・年少人口予測



# 3 経済のうごき

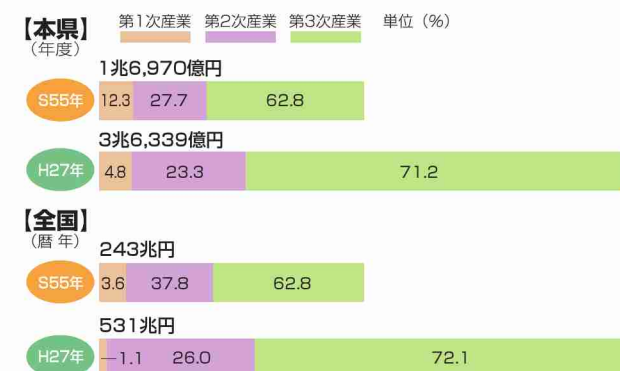
## 1 経済成長率(実質)

- 平成27年度の県内総生産  
 名目県内総生産 3兆6,339億円  
 実質県内総生産 3兆5,378億円

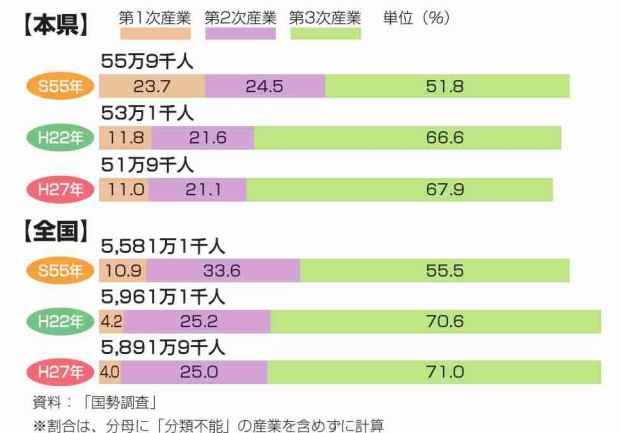


## 3 産業構造

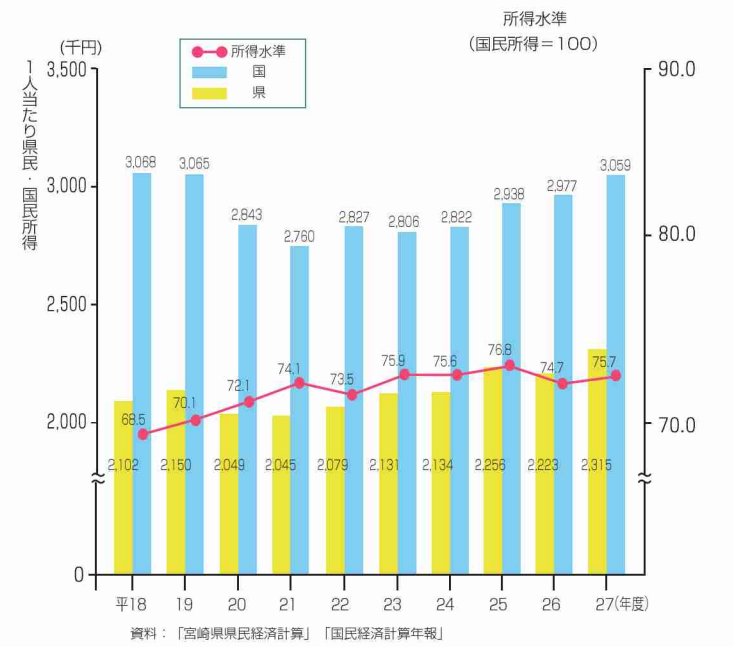
### 1. 県(国)内総生産(名目)



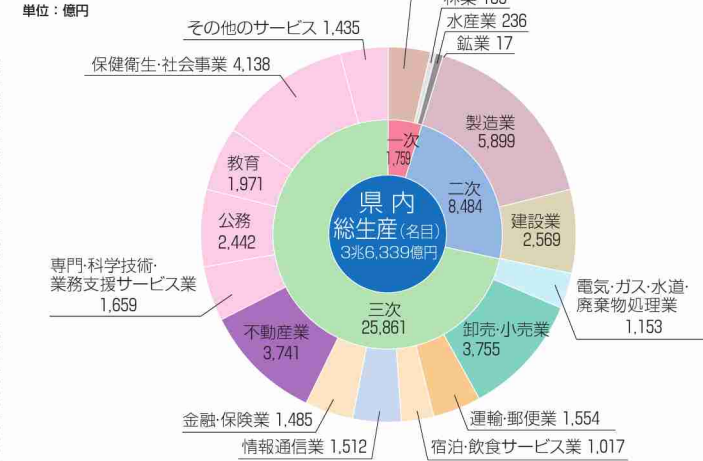
### 2. 就業人口



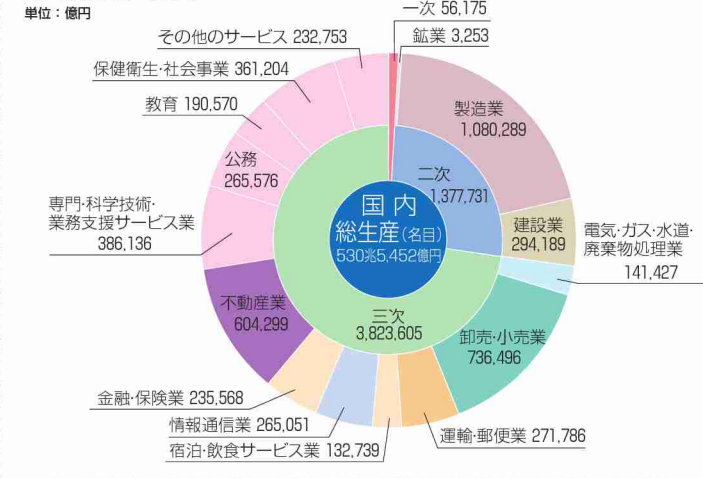
## 2 県民所得の推移(人口一人当たり)



### 平成27年度産業別構成(本県)



### 平成27年(暦年)産業別構成(全国)





宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されています。

「長期ビジョン」は、平成42年（2030年）の将来像を描き、人口減少問題の克服に向けた基本的な考え方など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。

「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す基本目標の実現や長期戦略の具体的な推進のため、平成27～30年度（2015～2018年度）の4年間に優先的に取り組む8の重点施策の内容や数値目標を明らかにしています。

## 宮崎県総合計画 未来みやざき創造プラン



県総合計画の実行を通じて、経済的なゆたかさとお金には代えられない価値との両方が調和した「新しいゆたかさ」の実現を目指しています。

宮崎県の「ゆたかさ」の状況を総合的な視点から客観的に測定し、また、良い面をアピールするため、宮崎ならではの2種類の「ゆたかさ指標」を作成しました。

「新しいゆたかさ」を考へる

くらしの中の「ゆたかさ」を見つめ直してみませんか？

「ゆたかさ指標 宮崎」で検索 又は コチラから

### 新しい「ゆたかさ」展開プログラム

#### 1 人口問題対策プログラム

- 【主な内容】**
- ライフステージに応じた出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての支援
  - 若者にとって魅力ある就学・就業環境の整備
  - 移住・定住人口、交流人口の拡大による地域活力の維持・増進

- 【主な事業】**
- ・産業人財育成・確保緊急対策事業（新）
  - ・みやざき結婚サポート事業（改）
  - ・未来みやざき子育て県民運動推進事業（改）
  - ・知ろう 伝えよう 宮崎で働く魅力！高校生県内就職促進事業
  - ・移住・U/Iターン強化事業



子育て応援フェスティバル

- 県民の主な役割**
- 子育て支援を必要としている方を地域全体で支えていきましょう。
  - 県内で仕事を求める若者に対して、積極的に就職情報を発信しましょう。
  - 宮崎に移住してきた方が地域に早くなじめるように支援しましょう。

主な指標	現況値	目標値(H30)
宮崎県の総人口	108.8万人(H29.10)	108.1万人(H32)
説明会、マッチング等により就職した人数	875人(H28)	1,200人
県内への移住世帯数	590世帯(H27～28)	1,000世帯(H27～30)

#### 2 人財育成プログラム

- 【主な内容】**
- 「生きる力」の向上などによる将来世代の育成
  - 官民協働による自立した社会人・職業人の育成と中核となる産業人財・地域人財の育成促進
  - 誰もが生涯学び続けられる環境づくりと全員参加型社会の実現

- 【主な事業】**
- ・みやざき産業人財確保支援基金事業
  - ・ワークライフバランス促進事業（改）
  - ・女性の活躍サポート事業（改）
  - ・宮崎県キャリア教育推進事業



宮崎農業高校(生活文化科)と宮崎工業高校(インテリア科)による共同研究

- 県民の主な役割**
- 子どもと一緒に将来の夢や目標について語りましょう。
  - 地域やふるさと宮崎の良さを考え、子どもたちに伝えていきましょう。
  - 女性や高齢者、障がいのある人が、その能力や経験を十分生かせる雇用環境づくりに努めましょう。

主な指標	現況値	目標値(H30)
将来の夢や目標を持ち職業や生き方を考えている中学3年生の割合	87.5%(H28)	100%
読書が好きな小中学生の割合	71.6%(H29)	80%
性別によって役割を固定化することにとられない人の割合	53.1%(H29.2)	66.1%

#### 3 産業成長プログラム

- 【主な内容】**
- 成長産業の育成加速化と本県経済をけん引する中核的な企業の育成
  - 本県の基幹産業である農林水産業の成長産業化
  - 陸・海・空の交通・物流ネットワークの整備と物流の効率化・低コスト化の推進
  - アジア等との交流促進やグローバルな視点で事業展開を目指す企業の支援

- 【主な事業】**
- ・みやざき地域活性化雇用創造プロジェクト推進費
  - ・宮崎県物流強化推進事業（改）
  - ・みやざき輸出対応力強化推進事業（改）
  - ・みやざきスマート農業加速化事業（新）



スマート農業の研究(茶の無人摘採機)

- 県民の主な役割**
- ニーズを十分に把握しながら生産、販売、商品開発に取り組みましょう。
  - 農工商連携や6次産業化に積極的に取り組みましょう。
  - 海外の見本市などに出展するとともに、海外市場などに関する知識や実践力の習得に努めましょう。

主な指標	現況値	目標値(H30)
新規企業立地件数(うち県外からの立地)	96件(43件)(H27～28)	150件(50件)(H27～30)
農業産出額	3,562億円(H28)	3,500億円
輸出額	1,546億円(H27)	1,700億円

※(新)は平成30年度新規事業、(改)は同年度改善事業

#### 4 地域経済循環構築プログラム

##### 【主な内容】

- 中核的な企業と中小企業などの連携強化や取引拡大などによる経済循環の促進
- 産学官連携による中小企業などの振興
- 地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入促進や関連産業の育成

##### 【主な事業】

- ・産学官連携プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業
- ・イノベーション促進・新事業創出推進事業
- ・地産地消県民運動発信力倍増事業
- ・水素エネルギー利活用促進モデル事業



みやざき元気!“地産地消”推進県民会議の企画展

##### 県民の主な役割

- 県産品を積極的に購入しましょう。
- 太陽光やバイオマスなどの地域資源を活用した新エネルギーの導入に努めましょう。
- 地域資源の循環や有効活用に努めましょう。

主な指標	現況値	目標値 (H30)
県際収支	△4,799億円 (H27)	△4,815 億円*
地産地消を意識し、できる範囲で利用している人の割合	64.7% (H29.2)	77%
食料品関連産業生産額	1兆3,242億円 (H26)	1兆4,500 億円

\*平成27年度宮崎県県民経済計算に基づき再計算

#### 5 観光再生おもてなしプログラム

##### 【主な内容】

- 宮崎ならではの魅力ある観光地づくりなどによる観光誘客の強化
- 受入体制の充実などによる「スポーツランドみやざき」の魅力向上
- 外国人観光客やMICE\*1の誘致と受入環境の整備

##### 【主な事業】

- ・観光みやざき未来創造基金 (新)
- ・美しい宮崎づくりの推進
- ・東京オリパラ等合宿・大会誘致受入推進事業 (改)
- ・国立公園満喫プロジェクト



スピードスケートナショナルチーム歓迎セレモニー

##### 県民の主な役割

- 県内各地の神話や伝承について理解・発信しましょう。
- 地域の魅力を知り、観光地づくりに参加しましょう。
- 県内でキャンプ・合宿を行う団体などを歓迎し、応援しましょう。
- 外国の文化や風習を理解し、おもてなしの心で接しましょう。

主な指標	現況値	目標値 (H30)
観光入込客数	1,533万人 (H28)	1,590 万人
延べ宿泊客数	364万人 (H28)	400 万人
観光消費額	1,338億円 (H28)	1,800 億円

\*1 MICE: Meeting(企業等のミーティング)、Incentive Travel(企業等の報奨旅行)、Convention(国際会議)、Exhibition/Event(展示会・イベント)の総称。

#### 6 文化スポーツ振興プログラム

##### 【主な内容】

- 地域の文化的財産や価値の継承による地域の活性化、ふるさとへの誇りや郷土愛を育てる取組の推進
- オリンピック・パラリンピック東京大会などを契機とした地域の魅力向上や情報発信
- アスリートの育成や競技力の向上、生涯スポーツの振興を通じたスポーツ文化の浸透

##### 【主な事業】

- ・みやざき文化振興プラットフォーム構築推進事業 (新)
- ・地域資源ブランド強化促進事業 (新)
- ・プロジェクションマッピングコンペ開催事業 (新)
- ・全国障害者芸術・文化祭開催準備事業 (新)
- ・スポーツで人が輝く元気な宮崎にスポーツ習慣化促進事業 (改)



高千穂の夜神楽「天岩戸開き神話」の一場面

##### 県民の主な役割

- 文化活動に参加し、文化施設を積極的に利用しましょう。
- 週1回・30分以上は運動をしましょう。
- 地域の魅力を再発見し、郷土愛を深めましょう。
- 宮崎県にゆかりのあるアスリートに関心を持ち、応援しましょう。

主な指標	現況値	目標値 (H30)
日頃から文化に親しむ県民の割合	37.7% (H29.2)	65%
成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率	45.0% (H29.2)	55%
ふるさとが「好き」だという児童生徒の割合	88.9% (H28)	95%

#### 7 いきいき共生社会づくりプログラム

##### 【主な内容】

- 生活に必要な各種サービスや機能の維持・効率的な提供に向けた環境整備
- 地域における福祉・医療が充実した暮らしづくり
- ライフステージに合わせた心身の健康づくり
- 低炭素社会の実現に向けた自然と共生する暮らしづくり
- 安全・安心な人にやさしいまちづくり
- 中山間地域の維持・活性化

##### 【主な事業】

- ・地域公共交通生産性向上促進事業 (新)
- ・地域公共交通ネットワーク最適化支援事業 (改)
- ・地域鉄道利用促進強化支援事業 (新)
- ・「みやざき・ひなたの介護」情報発信事業 (改)
- ・健康長寿社会づくり推進事業 (改)
- ・環境保全普及啓発推進事業 (改)
- ・GIS(地理情報システム)による交通事故総量抑止対策事業
- ・広げよう!「宮崎ひなた生活圏」形成促進事業 (新)

主な指標	現況値	目標値(H30)
これからも住み続けたいと思う人の割合	80.6% (H29.2)	100%
「本県の医療体制全般に満足している」割合	41.8% (H29.2)	50%
健康寿命の全国順位	男性23位、女性25位 (H28)	男性8位、女性6位
温室効果ガス排出量の削減率	平成2年度比37.4%削減 (H26)	平成2年度比49%削減
交通事故死傷者数	10,325人 (H28)	9,000人

#### 8 危機管理強化プログラム

##### 【主な内容】

- ソフト・ハード両面からの防災・減災対策
- 緊急輸送や救急医療の観点によるインフラ整備と公共インフラの適切な維持管理
- 新型インフルエンザなどの感染予防・流行対策の強化
- 家畜伝染病を発生させないための防疫体制の強化

##### 【主な事業】

- ・減災力強化推進事業
- ・地域総合メンテナンス事業
- ・消防体制強化支援事業
- ・家畜防疫体制整備事業

主な指標	現況値	目標値(H30)
災害に対する備えをしている人の割合	45.6% (H29.2)	55%
緊急輸送道路の防災対策進捗率	54.3% (H28)	56%
農場の飼養衛生管理基準の遵守状況	89.7% (H28)	100%



介護予防教室

##### 県民の主な役割

- 地域の課題などを、みんなで話し合い、できることから行動しましょう。
- 省エネルギーやエコドライブなど、環境にやさしい生活を実践しましょう。
- 地域ぐるみの防犯活動や見守り活動に積極的に参加しましょう。
- 地域の資源を見つめ直し、地域のためにできることを考え、行動しましょう。



津波避難タワー

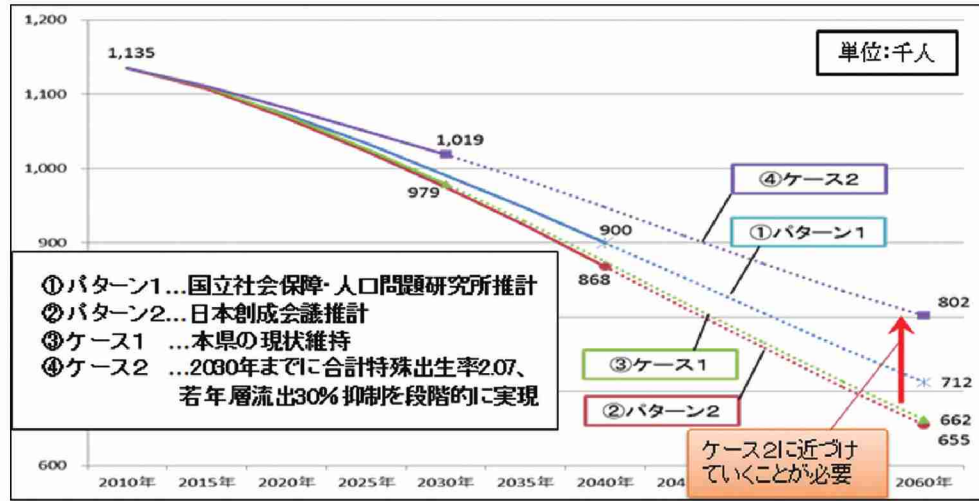
##### 県民の主な役割

- 災害に備え、食料・飲料水の確保や家具の固定、配置の工夫をしましょう。
- 道路で危険箇所を発見した場合は、国、県、市町村に連絡しましょう。
- 海外からの家畜伝染病の侵入防止(靴底消毒など)に協力しましょう。

# 5 地方創生への取組

## 1 人口の見通し

人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、平成27年9月に「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。高い合計特殊出生率や恵まれた子育て環境など本県の潜在力を軸に、産業活性化・雇用確保などの効果的な社会減対策と若者世代の増加による自然減対策との相乗効果で、人口増加に向けた好循環を生み出します。



## 2 目指す姿

(基本目標) 人口減少に対応した社会づくりと「新しいゆたかさ」の実現  
 (数値目標) 平成72年(2060年) ■県人口80万人超 ■29歳以下の若者人口割合30%以上 ■合計特殊出生率2.07

## 3 総合戦略の概要

総合戦略では、平成31年度までに実施する4つの施策目標を掲げるとともに、「みやざき創生始動プロジェクト」(世界ブランドのふるさとみやざきプロジェクト、2つのふるさとづくりプロジェクト、みやざき新時代チャレンジ産業プロジェクト)を先行的に推進し、社会減の抑制に取り組みます。

<b>目標① しごとを「興す」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>15歳以上人口に占める就業者の割合...60.0%(H31)</li> <li>29歳以下の若者人口の割合...26.7%(H31)</li> </ul>	<b>目標② 人を「育てる」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>総人口...108.6万人(H31)</li> <li>合計特殊出生率...1.84(H31)</li> </ul>
<b>目標③ まちを「磨く」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落支援活動を行う交流人口(延べ)...1,100人(H31)</li> <li>都市部の県外自治体との連携事業数...30件(H31)</li> </ul>	<b>目標④ 資源を「呼び込む」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内への移住世帯数...1,200世帯(H27~31)</li> <li>新規企業立地...190件(H27~31)</li> </ul>



# 6 みやざきの更なる飛躍と新たな挑戦

## 1 未来を支える人財育成・確保と中山間地域対策の強化

### 若者の県内定着とUIJターンの促進

#### ○「産業人財育成・確保のための取組指針」の策定

人口減少問題への対応が喫緊の課題となる中、宮崎の将来を担う人材を育成・確保するため、産学金労官の共有の取組指針を平成29年12月に策定しました。今後はこの指針に基づき、産学金労官で構成する産業人財育成プラットフォームを基盤に、連携を深めながら、それぞれの役割に応じた取組を展開していきます。



みやざき就職応援フェス!  
(奨学金返還支援事業周知イベント)



インターンシップ事前研修会

#### 目指す姿

「次代を担う人材が育ち、働きたい場所として選ばれるみやざき」

#### 取組の方向

1 みやざきを理解し、みやざきの将来を担う人材の育成

- ① 地域に視点を置いたキャリア教育等の充実
- ② 県内高等教育機関等による特色ある人材育成
- ③ インターンシップ等の拡大と多様化

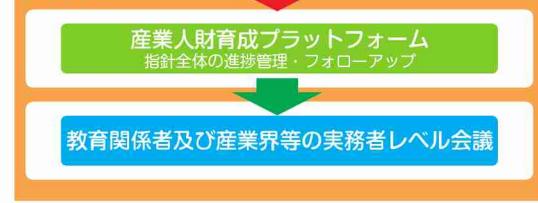
#### 2 働く場所の魅力向上

- ① 若者にとって魅力ある労働環境の整備
- ② 社会人の学びの場の充実
- ③ 女性や高齢者等の多様な人材が働きやすい職場環境づくり

#### 3 「みやざきで暮らし、みやざきで働く」良さの創出とPR

- ① 若者にとって魅力ある産業づくり
- ② 宮崎の魅力のPR
- ③ 県内就職に対する価値観の向上
- ④ 県内企業の魅力発信及び情報提供のための仕組みづくり

#### 取組の推進体制



人口減少に対応するため、本県の魅力の発信や受入体制の強化など、本県への移住・UIJターンを促進することにより、都市部から本県への人の流れを創出する取組を進めています。

#### ① 宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターの運営

宮崎市(本部)と東京都(支部)に、移住相談員・就職相談員を配置し、住まいと仕事の相談にワンストップで対応できる体制を整備しています。



宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター



#### ② 移住希望者登録制度「宮崎ひなた移住倶楽部」の会員募集

本県への移住に関心がある方を対象に、メールマガジンや移住イベント情報等を発信する会員登録制度「宮崎ひなた移住倶楽部」では、会員を募集しています。

応援企業に会員証を提示すると、引越料金割引などの特典を受けることができます。



宮崎ひなた移住倶楽部の会員証

#### ③ ふるさとワーキングホリデーの実施

都市部の若者等が働きながら一定期間本県に滞在し、地域の魅力を体感するふるさとワーキングホリデーを実施しています。



キウイ農家で働きながら本県に滞在する都市部の若者

## 2 世界ブランドや文化・スポーツを生かした地域づくりー2020年に向けてー

### ○ みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクトの推進

東京2020大会の開催効果を取り込むとともに、大会開催を契機として農林水産物の海外の輸出や外国人や障がいのある方が訪れやすい環境づくりなどを行い、将来の本県の活性化に繋げていく取組を推進しています。



ドイツ柔道連盟合宿

#### (1) キャンプ・事前合宿の誘致

- ・ ドイツ陸上連盟の事前合宿決定
- ・ ドイツ柔道連盟のグランドスラム東京2017直前合宿実施
- ・ ラグビーワールドカップ2019に向けたイングランド代表の視察受入 など

#### (2) 本県の誇る食材や木材の活用

- ・ 「ひなたGAP」認証制度の創設
- ・ 選手村ピレリプラザへの県産スギ材提供決定 など

#### (3) 外国人や障がいのある方などへのおもてなし環境の充実

- ・ 多言語表記、Wi-Fi環境の整備
- ・ 宿泊施設等のバリアフリー化の推進 など

### ○ 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の2020年本県開催

本県は、古事記や日本書紀に描かれた日向神話の舞台です。2020年は、こうした本県特有の神話や伝承、伝統文化など「地域の宝」を磨き上げ、情報発信を行い、地域活性化につなげていくことを目的とする「記紀編さん1300年記念事業」の集大成の年になります。この年に、文化の祭典を本県で開催することにより、「神話の源流みやざき」ブランドをはじめ、食文化などの魅力を幅広く発信し、文化による地域の活性化を図ります。



2017年奈良大会開会式の様子

#### 【基本構想の概要】

##### ○ 基本方針（テーマ）

- ① 「神話の源流みやざき」の探究
- ② すべての県民が参画し、若い世代が輝く
- ③ 新しい出会いから始まる文化の創造
- ④ 共に生きる 共に感じる 文化で紡ぐ共生社会
- ⑤ 「ひなた」に育まれた食と暮らし そして世界へ

##### ○ キャッチフレーズ

山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ

##### ○ 会期

2020年10月17日(土)～12月6日(日) 51日間

### ○ 高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産

高千穂郷・椎葉山地域は、世界的に山間地の人口減少が進む中、強い地域住民の絆によって伝統的な山間地の農林業と文化が受け継がれるとともに、先駆的な地域づくりが行われており、世界のモデルとなる重要な地域であると高く評価され、平成27年12月に世界農業遺産（GIAHS：ジアス）に認定されました。  
※高千穂郷・椎葉山地域：高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町・諸塚村・椎葉村で構成される地域

・世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage Systems：GIAHS）とは、国連食糧農業機関（FAO）が、次世代に継承すべき重要な伝統農法や生物多様性を有する地域を認定するプロジェクトです。  
・世界19ヶ国49地域、国内では、高千穂郷・椎葉山地域をはじめとする11地域が認定を受けています。（平成30年3月9日現在）

#### <認定後の主な取組>

世界農業遺産の認定を活用し、地域の活性化に繋げるため、農林産物のブランド化、世界農業遺産教育プログラムの構築、伝統的農林業や文化の継承活動等、様々な取組を進めています。



「世界農業遺産PR活動」  
（平成29年9月21日：中国北京 他国内7箇所）  
国内外の認定地域と連携し、都市部や海外で特産品販売や活動紹介等を行うなど高千穂郷・椎葉山地域のPR活動を行いました。



「世界農業遺産中学生サミット」  
（平成30年1月20日：高千穂町）  
世界農業遺産について学習した成果を発表する中学生サミットを開催しました。九州内の認定地域である熊本、大分の中学校も参加し、それぞれの地域の特徴や魅力を発表しました。



綾の照葉樹林



森林セラピー（日之影町）

### ○ ユネスコエコパーク ※正式名称：Biosphere Reserve（生物圏保存地域）

・ユネスコエコパークとは、「生態系の保全」と「持続可能な利活用」の調和を目的として、1976年にユネスコが開始した制度です。  
・登録総数…120カ国、669地域、国内登録地…9地域（平成29年6月現在）

#### ①綾ユネスコエコパーク（平成24年登録）

日本最大級の面積で照葉樹自然林が残る綾町では、これを保護・復元していく取組や、自然に配慮した農業が推進されており、平成24年7月、自治体が主導する地域として国内で初めてユネスコエコパークに登録されました。

綾町の「自然と共生した地域づくり」は高い評価を受けており、「綾ブランド」の国内外への情報発信が図られています。

#### ②祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク（平成29年登録）

宮崎県と大分県にまたがる祖母・傾・大崩山系周辺地域は、急峻な岩峰などの独特の景観美を有するとともに、幅広い植生や豊かな動植物相が見られる貴重な地域です。

また、人々の自然への畏敬の念に支えられ、神楽などの伝統文化や自然と共生した農林業などが受け継がれており、この「人と自然が共生した営み」が高く評価され、ユネスコエコパークに登録されました。

登録を契機に関係機関が一体となり、美しい自然や文化を次世代へ継承する取組や地域への誘客促進による地域活性化の取組などが進められています。

### ○ 霧島錦江湾国立公園が国立公園満喫プロジェクト先導的モデル地域に選定

宮崎・鹿児島両県にまたがる霧島錦江湾国立公園は、多様な火山と「環霧島」の自治体連携等が評価され、平成28年7月に「国立公園満喫プロジェクト」の全国8箇所の先導的モデル地域の1つに選定されました。



・国立公園満喫プロジェクトとは、国が平成28年3月に策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」施策のひとつで、2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を1000万人にすることを目標に、国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図るものです。

#### <国立公園満喫プロジェクト推進事業>

取組の基本方針となる「ステップアッププログラム2020」を策定し、県内の重点取組地域（ビューポイント）である「えびの高原・白鳥温泉」「夷守台・生駒高原」「御池・高千穂峰」を中心に、公園利用施設の整備（ハード事業）やフォトコンテストの開催、外国人おもてなし店舗の認定、外国人対応マニュアルの作成（ソフト事業）を行っています。

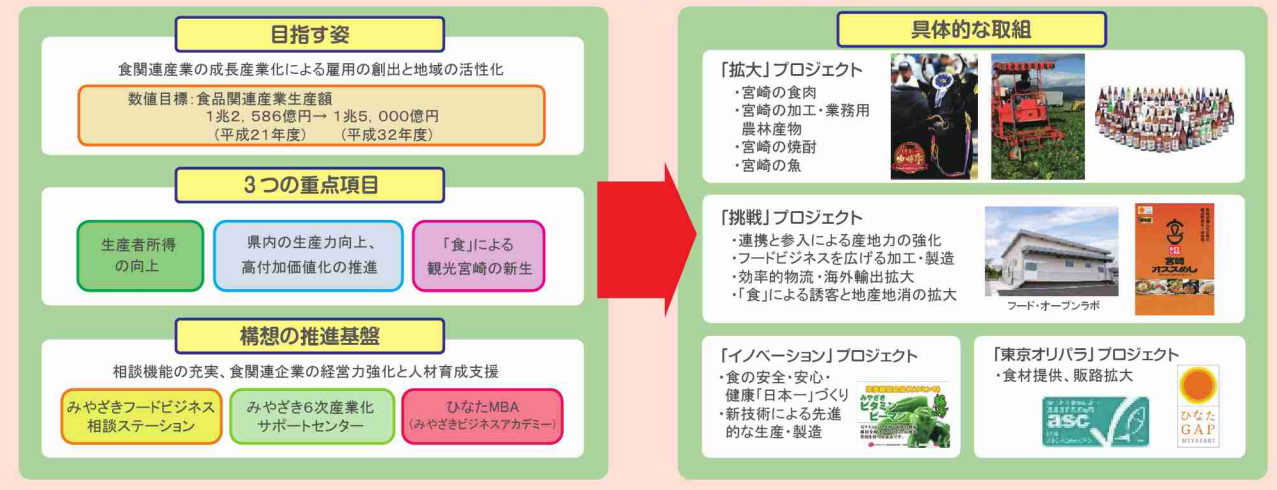
## 3 地域経済をけん引する産業づくり

### ○ フードビジネスの推進

豊かな農林水産物を核とした裾野の広い食関連産業の成長産業化を目指して、平成25年3月に「みやざきフードビジネス振興構想」を策定しました。

構想に基づき3つの重点項目（①生産者所得の向上、②県内の生産力向上・高付加価値化の推進、③「食」による観光宮崎の新生）を設定し、フードビジネスを進める上での構造的な課題に向き合いながら、ワンストップ相談窓口の設置や人材育成プログラムの展開など、必要な推進基盤の整備を図るとともに、食肉の販路拡大や産地力の強化など様々なプロジェクトを推進し、食関連産業の振興に取り組んでいます。

## フードビジネス振興構想

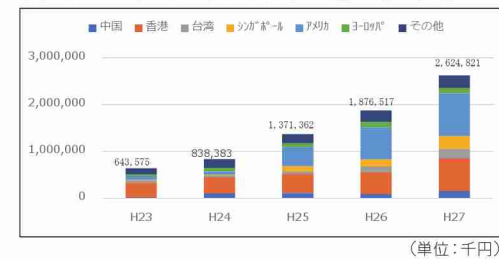


### ○ 県産品の輸出拡大の取組

高齢化や人口減少により国内マーケットの縮小が懸念される中、海外への県産品の輸出は、県内の生産者や加工業者の安定的な収入を確保し、地域経済を活性化する取組として期待されています。

このため、香港や台湾、シンガポールなどアジアに軸足を置きつつ、更には北米やEUなど世界の市場を見据えながら、海外企業との商談やプロモーションの展開など、県産品の輸出拡大に向けた取組を進めています。

#### (1) 県産品（食料品及び飲料）の輸出額の推移



#### (2) 輸出促進に向けた主な取組

- ①輸出に取り組む県内企業の掘り起こし
  - ・海外在住の輸出促進コーディネーターによる輸出有望商品の発掘（香港、シンガポール、北米、EU）
  - ・農業法人等を対象とした輸出促進セミナーの開催
  - ・輸出に意欲ある産地・企業の相談・支援対応を行う国内輸出サポーターの設置
  - ・海外のマーケットニーズや輸出先国の基準に対応した施設整備の推進（かんしよ、牛肉、豚肉、鶏肉）
- ②海外販路の開拓
  - ・知事によるトップセールス（台湾、北米）
  - ・輸出促進コーディネーターによる輸出有望商品の売り込み（香港、シンガポール、北米、EU）
  - ・海外食品見本市への県ブースの設置（香港）
  - ・海外フェア等への出店（香港、シンガポール）
  - ・海外バイヤー、食品関係者等の招へい（香港、台湾、シンガポール、北米、EU）



輸出促進セミナー

知事トップセールス（台湾）

バイヤー招へい商談会（アメリカ）

宮崎ひなたフェア（シンガポール）

海外食品見本市への出展（香港）

輸出拠点施設（かんしよ）

限られた人員・財源の中で、多様化・高度化する県民ニーズに的確に対応しながら、県民本位の行財政改革を推進するため、平成27年7月に策定した「みやざき行財政改革プラン(第二期)」に基づき様々な取組を推進しています。

## みやざき行財政改革プラン(第二期)の概要

### 基本理念

県総合計画の基本目標『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を支える持続可能な行財政基盤の確立

- 推進期間  
平成27年度～平成30年度(4年間)
- 推進体制  
行財政改革推進本部(本部長:知事)を中心とした全庁的な行財政改革を推進するとともに、行財政改革懇談会(外部有識者)に意見を求めます。
- 進捗状況等の公表  
県民にわかりやすい形となるように努め、毎年度公表します。

### 【改革プログラム】

## 行財政改革

#### 改革の視点1 効率的で質の高い行政基盤の構築

- (1) 簡素で効率的な行政基盤の整備  
組織体制の見直し、適正な定員・給与の管理、公社等改革の推進等
- (2) 危機事象への対応  
危機管理能力の強化、防災拠点庁舎の整備等
- (3) 公正で開かれた県政運営  
法令遵守意識の徹底、新たな行政不服審査制度の適正な運用等
- (4) 適正で成果志向の県政運営  
政策評価の実施、適正な会計事務及び物品管理の確保等
- (5) 市町村との連携  
市町村の自立支援、市町村との共同による人材育成等

#### 改革の視点2 県政運営を支える人材づくりと県有財産等の資産の有効活用

- (1) 県政を担う人材の育成と意識改革  
職員研修の充実、仕事と家庭の両立の推進等
- (2) 女性職員が活躍できる職場環境の整備  
女性職員が働きやすい職場環境づくり、女性職員の育成・登用の推進等
- (3) 県有財産等の資産の有効活用  
公共施設等の老朽化対策の推進、オープンデータの取組推進等

#### 改革の視点3 県民ニーズに即した行政サービスの提供

- (1) 県民との情報連携、県民ニーズの的確な把握と県政への反映  
分かりやすく適時・的確な広報、双方向コミュニケーションの機会の充実等
- (2) 県民等との連携・協働  
多様な主体との協働の推進、アウトソーシングの推進等
- (3) 県民サービス・利便性の向上  
相談窓口等の利便性向上、マイナンバー制度への対応等

#### 改革の視点4 持続可能な財政基盤の確立

第四期財政改革推進計画に基づく財政改革の取組

### ●本県の財政状況

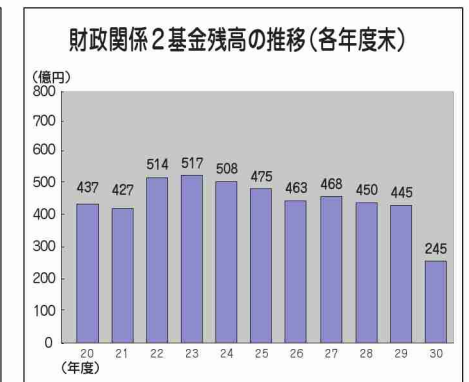
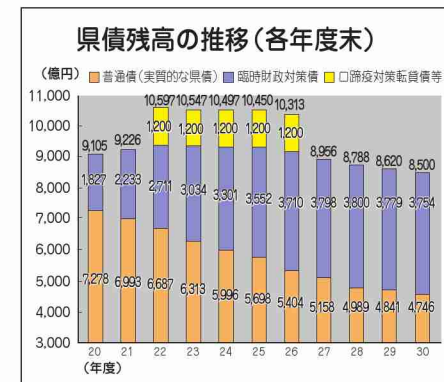
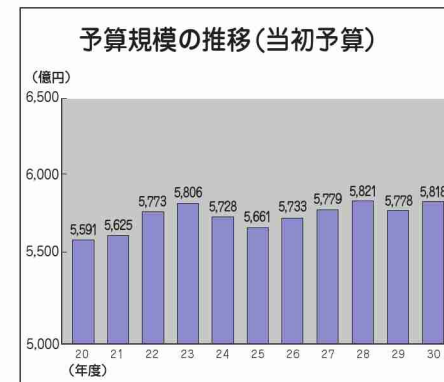
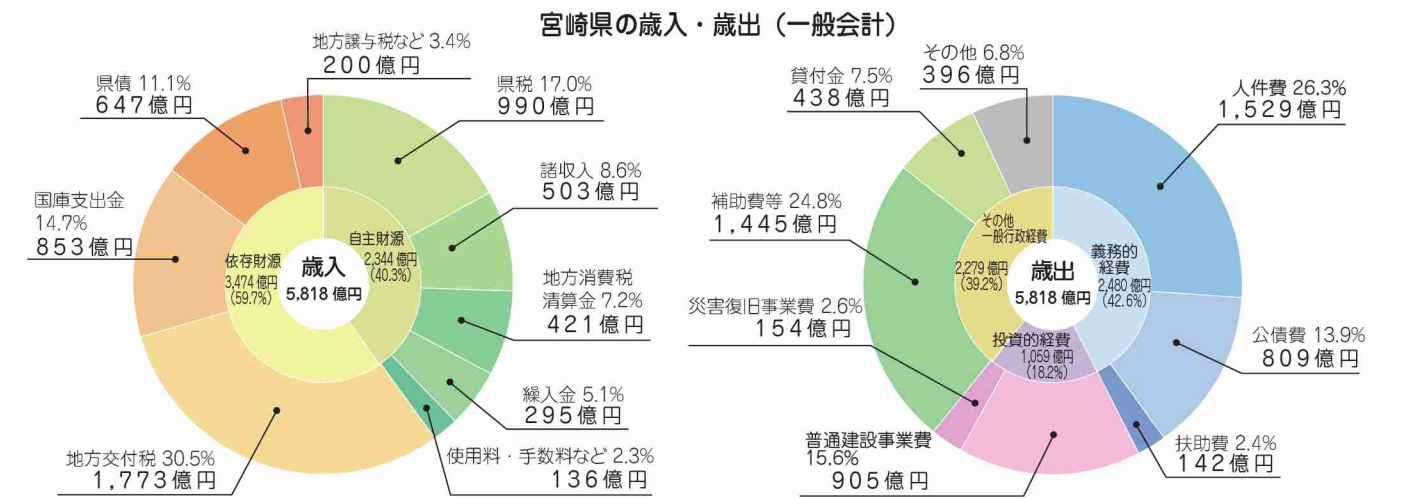
本県の財政については、県税収入等の自主財源に乏しい脆弱な財政基盤ではありますが、今後も増加が見込まれる社会保障関係費や防災・減災対策、公共施設の老朽化対策等、多額の財政負担が見込まれることから、選択と集中の理念の下、施策の重点化を図ることとしています。

### ●平成30年度予算

予算額(一般会計)は、投資的経費及びその他一般行政経費がそれぞれ増加したことにより、前年度当初予算額と比べ、0.7%増の5,818億円となっています。

### 平成30年度当初予算の概要

- 基本方針  
平成30年度当初予算については、財政改革の取組を「不断の取組」として着実に実行しながら、本県の抱える様々な課題に的確に対応するとともに、将来を見据えた施策について積極的な展開を図る予算として編成しました。  
《重点施策》  
みやざきの更なる飛躍と新たな挑戦をテーマに、以下の3つを重点施策としました。  
①未来を支える人財育成・確保と中山間地域対策の強化  
②世界ブランドや文化・スポーツを生かした地域づくりー2020年に向けてー  
③地域経済をけん引する産業づくり
- 特別枠  
新たに観光みやざき未来創造基金を設置し、本県の強みを生かした観光誘客を行うほか、県営電気事業みやざき創生基金を活用した地方創生による地域活性化の取組及び地域経済活性化のための公共事業の追加など、総額63.8億円を措置しました。



※平成23年度、27年度は6月補正後の予算額  
※平成27年度は口蹄疫対策貸付等償還金1,200億円を除く  
※平成29年度は2月補正後、平成30年度は当初予算後の見込額  
※臨時財政対策債：地方交付税の不足を補うために発行する県債。償還に要する費用は、後年度交付税措置される。  
※口蹄疫対策貸付等：口蹄疫復旧対策を実施する団体がその運用益で事業を実施できるように、元本として貸し付けた県債。5年間の運用後に全額を償還。  
※財政関係2基金：財政調整積立金、県債管理基金(財源調整部分)  
※平成29年度は2月補正後、平成30年度は当初予算後の見込額

※グラフにおいて、離散処理の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。





○平成29年4月 高鍋農業高等学校が文部科学省よりスーパープロフェッショナル・ハイスクール (SPH) に指定



高鍋農業高校が、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するための実践研究校として、文部科学省から本県初となるSPH指定を受けました。指定期間は3年間 (H29～H31)

○平成29年6月 県庁5号館移転工事着工



防災拠点庁舎建設予定地内にある昭和元年建築の「県庁5号館」を解体せずに移動させました。木造ではない建築物を曳家する全国でも珍しい事例となりました。

○平成29年8月 本格焼酎出荷量3年連続日本一



出荷量が3年連続日本一となった宮崎の本格焼酎。出荷額も1千億円を超え、その9割を県外へ出荷し、海外も視野に、今や外貨を稼ぐ本県のリーディング産業へと成長しています。

○平成29年9月 世界ジュニアサーフィン選手権開催



日向市お倉ヶ浜海岸で「2017 VISSLA ISA 世界ジュニアサーフィン選手権」が開催され、41の国と地域の代表選手、306名が熱戦を繰り広げました。

○平成29年4月 みやざき動物愛護センター開所



4月1日、動物愛護を推進するための拠点施設となる「みやざき動物愛護センター」が宮崎県と宮崎市の共同設置によりオープンしました。

○平成29年6月 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定



ユネスコ本部 (パリ) で開催された審査機関の会議において、祖母・傾・大崩山系周辺地域のユネスコエコパークへの登録が決定しました。

○平成29年9月 「第11回全国和牛能力共進会(宮城大会)」において3大会連続となる内閣総理大臣賞を受賞



「日本一の努力と準備」を合い言葉に「チーム宮崎」一丸となって挑んだ「第11回全国和牛能力共進会」において、最高位(名誉賞)となる内閣総理大臣賞を史上初の3大会連続で受賞しました。

○平成29年9月 キヤノン株式会社・宮崎キヤノン株式会社 立地調印式



キヤノン株式会社・宮崎キヤノン株式会社が、南九州大学高鍋キャンパスにデジタルカメラ等の新たな製造工場を建設することとなり、立地調印式を行いました。

○平成29年10月 新燃岳噴火



新燃岳が6年ぶりに噴火しました。3月には、7年ぶりとなる爆発的噴火が発生し、さらには溶岩流も確認されるなど、活発な活動が続きました。この影響で、イベント等の中止や農作物への降灰などの被害が生じました。

○平成29年11月 みやざき子ども未来ネットワーク発足



県内で「子ども食堂」や「学習支援」などに取り組む個人や団体が連携して、総合的に子どもの貧困対策を行うため、「みやざき子ども未来ネットワーク」が発足しました。(写真: 企業との包括連携協定に基づく食品贈呈)

○平成29年12月 宮崎牛の地理的表示(GI)登録



全国和牛能力共進会での成績や長年の肉用牛改良の取組等が評価され、優れた品質を持つ真の地域ブランドとして、宮崎牛が本県初のGI産品として登録されました。

○平成30年1月 県庁防災拠点庁舎建設工事安全祈願祭・起工式



南海トラフ地震など大規模災害時に備えるため、災害対策の司令塔となる十分な耐震性と防災関係機関の活動スペースを確保した「防災拠点庁舎」の建設工事に着手しました。

○平成29年10月 選手村ビレッジプラザに県産スギ材の提供が決定



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設で整備される選手村ビレッジプラザに、県産スギ材を提供することになりました。大会終了後は本県に持ち帰り、レガシーとして活用される予定です。

○平成29年12月 長距離フェリー航路の維持に向け出資を決定



県産品の輸送や旅客の移動に重要な長距離フェリー航路を長期的かつ安定的に維持するため、県や地元経済界等による新会社が航路を担うこととし、平成30年3月から運航を開始しました。

○平成29年12月 LCCによる成田線・ソウル線の就航



12月21日に、本県初となる「宮崎-成田線」が就航するとともに、国際線では初となるLCCによる「宮崎-ソウル線」が就航し、宮崎プーゲンビリア空港発着の航空路線がますます充実しました。

○平成30年3月 東九州自動車道「日南北郷IC～日南東郷IC」間 開通



3月11日に、県南区間初となる東九州自動車道「日南北郷～日南東郷」間が開通。今後、県南地域への企業立地の進展や観光振興などに重要な役割を果たすものと期待されます。

## 宮崎県の歴史



昔の県庁周辺(昭和初期)

宮崎は、まっすぐに日の出る方に向いているということから、古より「日向の国」と呼ばれています。また、日本初代天皇・神武天皇にちなむ伝承が存在し、宮のあたりとか、所在地というような意味で、「宮崎」の地名が起こったといわれています。

古代のロマンにみちた神話・伝承や伝統文化が数多く残り、高千穂町・高原町の天孫降臨神話、椎葉村の平家落人伝説、美郷町(旧南郷村)の百済王族亡命伝説などが有名であり、西都市には、巨大な西都原古墳群が広がっています。

江戸時代、日向国は小藩が分立し、結局、延岡藩(内藤氏)・高鍋藩(秋月氏)・佐土原藩(島津氏)・飫肥藩(伊東氏)・島津藩領・天領となって明治に至りました。

明治6年、美々津県と都城県を廃し宮崎県が置かれ、明治9年に廃止となり、鹿児島県に合併され、西南戦争のときは本県も戦場となりました。

明治16年5月9日、分県運動の結果、宮崎県が再置され、今日に至っています。



今の県庁周辺

### 置県後のあゆみ

年	月	出来事	
明治	16年 5月	宮崎県再置	
	7月	宮崎県庁開庁	
大正	12年 12月	日豊本線開通	
昭和	7年 10月	県庁舎(現在の本館)落成	
	22年 4月	第1回知事、市町村長選挙	
	24年 5月	宮崎大学設置	
	29年 12月	宮崎空港開港(極東航空ローカル線)	
	41年 10月	宮崎空港ジェット化(地方空港として日本初)	
	48年 4月	第24回全国植樹祭(夷守台)	
	49年 6月	宮崎医科大学開学	
	54年 9月	第34回国民体育大会夏季大会	
		10月	// 秋季大会
		10月	第15回全国身体障害者スポーツ大会
平成	56年 10月	九州縦貫自動車道宮崎線全線開通	
	58年 5月	置県100周年記念式典	
		11月	「新ひむかづくり運動」県民会議発足
	61年 11月	第10回全国育樹祭(夷守台)	
	62年 6月	宮崎港開港	
	63年 7月	宮崎・日南海岸リゾート構想がリゾート法第1次指定	
	4年 8月	全国高等学校総合体育大会	
	5年 2月	宮崎学園都市完成	
		10月	第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会
	6年 4月	フォレストピア学びの森学校開校	
7年 10月	県総合文化公園ランドオープン		
	11月	第15回全国豊かな海づくり大会(油津港)	
8年 3月	第1回宮崎国際室内楽音楽祭		
	7月	空港連絡鉄道開通	
	11月	第9回全国健康福祉祭みやざき大会	
9年 4月	県立看護大学開学		
11年 3月	第16回全国都市緑化みやざきフェア		
12年 4月	太平洋・島サミット		
	7月	九州・沖縄サミット宮崎外相会合	
	8月	細島港国際コンテナターミナル供用開始	
13年 4月	宮崎~ソウル国際定期便運航開始		
14年 5月	2002年ワールドカップサッカースウェーデン、ドイツ代表チームキャンプ実施		
15年 6月	ひむか神話街道全線開通		
16年 4月	第55回全国植樹祭開催		
		県立西都原考古博物館開館	
19年 4月	県立宮崎西高等学校附属中学校開校		
19年 10月	「第9回全国和牛能力共進会」宮崎牛日本一		
20年 6月	宮崎~台北国際定期便運航開始		
21年 10月	全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクみやざき2009」開催		
22年 4月	県内で口蹄疫発生、同年8月終息宣言		
	8月	第34回全国高校総合文化祭	
		「全国高総文祭・みやざき2010」開催	
23年 11月	宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」誕生		
24年 4月	ドクターヘリ運航開始		
	10月	「第10回全国和牛能力共進会」宮崎牛連続日本一	
25年 6月	置県130周年記念式典開催		
	11月	宮崎キャビア1983販売開始	
26年 9月	第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会開催		
27年 3月	東九州自動車道佐伯~蒲江間供用開始により宮崎~大分間全線開通		
	5月	第26回全国「みどりの愛護」のつどい開催	
	11月	「第18回全国農業担い手サミットinみやざき」開催	
	12月	高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定	
28年 4月	東九州自動車道椎田南~豊前間供用開始により宮崎市~北九州市間全線開通		
28年 7月	霧島錦江湾国立公園が国立公園満喫プロジェクト先導的モデル地域に選定		
28年 9月	九州縦貫自動車道山之口スマートインターチェンジ開通		
29年 6月	祖母・傾・大崩コネスコエコパークの登録決定		
29年 8月	本格焼酎出荷量3年連続日本一		
29年 9月	「第11回全国和牛能力共進会」3大会連続内閣総理大臣賞(最高位)受賞		
29年 12月	宮崎牛の「地理的表示(GI)」登録		

指標名	単位	全国	宮崎県	順位	対全国比(%)	調査年・資料出所
総面積	km <sup>2</sup>	377,974	7,735	14	2.05	29.10.1 国土地理院
総人口	千人	126,933	1,096	36	0.86	28.10.1 総務省
一般世帯数	千世帯	53,332	461	34	0.87	27.10.1 //
人口密度	人/km <sup>2</sup>	336	142	39	-	28.10.1 総務省、国土地理院
合計特殊出生率	-	1.44	1.71	3	-	28年 厚生労働省
県(国)内総生産(名目)	億円	5,321,914	36,339	-	0.68	27年度 内閣府
一人当たり県(国)民所得	千円	3,059	2,315	-	75.7	// //
消費者物価地域差指数(総合)	-	100.0	96.1	45	-	28年平均 総務省
総農家数	戸	2,155,082	38,428	27	1.78	27.2.1 農林水産省
農業産出額	億円	93,051	3,562	5	3.83	28年 //
ピーマン収穫量	トン	144,800	27,000	2	18.65	28年 //
さといも収穫量	//	154,600	10,500	3	6.79	28年 //
きゅうり収穫量	//	550,300	61,300	1	11.14	28年 //
肉用牛飼養頭数	頭	2,499,000	243,800	3	9.76	29.2.1 //
豚飼養頭数	//	9,346,000	846,700	2	9.06	29.2.1 //
ブロイラー飼養羽数	千羽	134,923	27,684	1	20.52	29.2.1 //
スギ素材生産量	千m <sup>3</sup>	11,848	1,858	1	15.68	28年 //
乾しいたけ生産量	トン	2,734	523	2	19.13	28年 //
海面漁業・養殖業生産量	//	4,296,125	114,124	14	2.66	28年 //
近海かつお一本釣漁獲量	//	29,464	18,363	1	62.32	28年 //
製造事業所数(従業者4人以上)	事業所	217,601	1,532	41	0.7	28年 経済産業省
製造品出荷額等(従業者4人以上)	億円	3,131,286	15,657	42	0.5	27年 //
商店数(飲食店を除く)	店	1,407,235	14,093	35	1.00	26.7.1 //
商品販売額	億円	4,788,284	24,048	33	0.50	// //
道路改良率(国県道)	%	76.9	68.9	37	-	28.4.1 国土交通省
人口千人当たり自動車保有台数	台	640.18	860.23	7	-	29.3.31 自検協
都市計画区域内人口1人当たり都市公園等面積	m <sup>2</sup>	10.3	21.4	4	-	28.3.31 国土交通省
人口10万人当たり医師数	人	251.7	251.2	24	-	28.12.31 厚生労働省
人口10万人当たり一般病院病床数	病床	702.3	865.0	16	-	28.10.1 //
高等学校等進学率	%	98.8	98.4	38	-	29年3月卒 文部科学省
大学等進学率	//	54.7	45.0	38	-	// //

## 県のシンボル



### 県章(明治45.1.14制定)

「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので、「日」を中心に「向」が三方に伸びて、躍進する県のすがたを示しています。



### 県旗(昭和39.12.22制定)

この旗は、県のシンボルであるみどり(緑)と太陽(黄色)をあらわし、宮崎の「ミ」をかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進のすがたをあらわしています。

## 県の木



フェニックス



ヤマザクラ



オビスギ

## 県の鳥



コジロヤマドリ

## 県の花



ハマユウ